

★女性のつどい報告

二月八日に『女性のつどい』が西本願寺高岡会館礼拝堂で開催されました。この集いは、初めての試みで、次世代の方々の育成を目的とした集いです。立春を過ぎたとは言え、大雪と厳しい寒さの中、約八十名もの多数の会員が参加しました。

開会式と音楽法要の後に、若神組善興寺前坊守の飛鳥一枝さんを講師としてお招きし、「九条武子さまに学ぶ」と題して講義を受けました。九条武子さまの生涯を知り、私たちも、自分ではどうしようもできない生老病死の苦しみの中で、無常を受け止め、念仏者として歩ませていただこうと思いました。

その後に、瑠璃の響きのみなさんによる仏教讃歌を拝聴し、執行部員が心を込めて手作りした温かいぜんざいが振る舞われました。親鸞聖人は小豆が大好きだったといういわれから、報恩講等の行事に小豆料理をいただくそうです。身も心も温まる実り多い研修となりました。

洗心仏婦 土原久美子

★災害救援活動専門委員会活動報告

『高岡教区報二月号』の「高岡教区能登ボランティア支援班募集のお知らせ」を見て、すぐ教務所に電話



して申し込みました。私は、東日本大震災の時に、看護師として宮城県気仙沼市にて、延べ四十日間、ボランティアアナースとして通った経験があるので、この度の能登地震でもボランティア活動に参加したかったのですが、昨年四月に氷見東組・乗福寺に、住職と共に坊守として入寺し、自坊のことで今まで精一杯でしたが、お寺のホームページの開設もでき、少し落ち着いてきたので、参加することができました。

今回は、二月二十七日（木）に、輪島市門前町諸岡地区の道下第二団地集会所にて百六十人分の炊き出しを行いました。メニューは、豚汁とまぜごはん、前日の二十六日に教務所にて、豚汁の材料の野菜を準備しました。

当日、スタッフ十八名。教務所職員・壮年会・婦人会・寺族青年会・門徒推進委員・坊守などが車五台に分かれて、教務所を七時半に出発し、現地には九時三十分過ぎに着きました。雪も無くて、雨も一時パラパラする程度で天候も良かったので、ホッとしました。

早速、テントやコンロ・テーブルを設置。炊けたご飯に、ワカメ・枝豆を混ぜ込み、パックに詰め、豚汁も肉がたっぷり入った熱々汁が準備でき、十二時からお渡ししました。既に、四十人以上の方が並んでおられました。予定の十二時のお配りする時間までお待ち頂きました。女性の高齢者の方が多かったです。お一人、おひとりの顔を見ながら「何人分ですか？」とお聞きして、「二人分」「三人分」とか答えられ、「ありがとう！」と言って受け取ってさり、「気を付けて持って帰って下さい」と声掛けをしました。

短い時間ですが、仮設住宅に住まわれている方と

同じ時間を持つことができ、感謝いたします。道下第二団地は、木造の仮設住宅で、集会所にも木製のスロープが設置されていて、高齢者の方が多くいらつしやるのだろうと思いました。

今回、教区の災害救援活動に初めて参加しましたが、これからも被災された方に少しでも心を寄せて、支援活動に参加していきたいです。

氷見東組乗福寺 大橋裕子

★少年連盟第二ブロック研修会開催

去る二月二十五日、二十六日、西本願寺高岡会館にて少年連盟第二ブロック研修会が自教区主催で五年ぶりに開催されました。

テーマは『一緒に悩もう』激動の社会で、子どもたちを取り巻く環境や悩みも日々変化し複雑化しています。さらにコロナ禍で私たち少年連盟の活動も制限され、高岡教区では活動をどのように進めていくか、今後の子ども会のあり方を模索していました。今研修会では、同じ少年連盟の指導者同士が実際に顔を突き合わせて自由に意見交換・悩みを共有できる場にしたという強い想いから、オープンスペーステクノロジーという技法を活用したワークショップ形式の話し合いを行いました。

ご講師に、東京教区教覚寺ご住職の南荘撰さんをお迎えし、基調講演では、ご自坊の子どもと若者とお寺の接点をつくる活動をお聞かせいただきました。初参式、少年会、十代の会、青年会、壮年会、婦人会、覚寿の会と生まれてから亡くなるまで途切れず全ての年齢の方のための会や行事があること、少年会(子ども会)はご門徒さん主体のキッズサンガが企画運営されていることに驚き感銘を受けました。三宝に僧(サンガ)が含まれる意義、様々な世代の人たちと関わり合いトータルでいろんな経験ができるお寺の活動を大切にしていると話し合いました。

その後南荘さんには、ファシリテーターとして、今私たちが話

し合いたい内容を引き出し、ワークショップを進めていただきました。挙がった六つのテーマへ各自好きなところを選んで話し合いに参加、途中自由に別のテーマに移動可能、コーヒーやお菓子をいただきながら和やかに肩の力を抜いて話し合いができる点が今回のワークショップの特徴でした。

参加者から挙がった今話したい、聞きたい、共有したいテーマは「教区ごとの現状」「子どもの現状」「子ども会十人から百人へ！作戦会議」「私たちができること・具体的に」「ゼロから始める子ども会」「コロナ禍前後の活動や子どもたちの変化」。親の代に行なっていた子ども会を再開したい、ずっと子ども会をお寺で続けているが原点に帰って活動を見直したい、自坊では子ども会開催は難しいが少年教化に興味があり現状を知りたい、活動している同世代の方に出会いたい、さまざまな状況で活動する参加者同士が本音で語り合う刺激的な場となりました。

二日目は『一緒にワクワクしよう』大人の遠足。高岡の鑄物体験で錫のぐい呑みや平皿をつくり、御車山会館を見学しました。和やかな話し合いと遠足により参加者に一体感が生まれ、出会えて想いを共有できた喜びが表情から伺え、私たち自身が子ども会に参加したような充実した研修会となりました。

若神組善興寺 飛鳥千春



◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

第二回 「御同朋の社会をめざす運動」 中央委員会報告

去る二月十四日、今年度二回目の中央委員会が開催されました。今回もオンラインと対面のハイブリット方式でしたが、対面での参加者は私を含め全体の四割程度でした。

会議ではまず、①重点プロジェクトの現状、②新たな宗務部門職制、③ジェンダー平等推進委員会答申、④平和に関する論点整理（戦後八十年版）の骨子、⑤テレビ東京『カンブリア宮殿』過去帳開示問題、についてそれぞれ担当室所部長より報告がなされました。委員に質問・意見が求められましたので、私からは「新たな『平和に関する論点整理』について、前回十年前の『論点整理』よりは『戦後問題検討委員会答申』が踏まえられた内容ではあるが、最終的な『提言』では全く触れられていない。まだ『骨子』ではあるが、個人的には不十分な内容であると評価している」「富山教区での過去帳開示問題から僅か四年。部長は『再発防止』と言うが、僧研の開催率も五割にとどまる中で全く説得力がない」と意見しました。現在進行中の案件もあり、あらためて高岡教区として内容を精査し、問題提起する必要性を感じました。

続く協議の部では、今回、唯一出た高岡教区の意見具申について議題とされました。（意見具申の内容は別紙参照）

提出した意見、①「意見具申と中央委員会の報告を『宗報』に掲載することを求めます」と、②「戦後八十年にあたっての非戦平和・ヤスクニ問題に関わる宗派声明を出すことを求めます」に對して、結論的には①は「どの様な形になるかは今後、検討するが、基本的に『宗報』に掲載する方向で進める」、②については「今

回出た意見も踏まえ、検討する」といった返答がありました。

協議においては、何人かの中央委員から、自らの役割や中央委員会そのものの機能について、「戸惑い」とも思える感想や意見が述べられていました。それは、要約すれば「委員が意見を言っても、それが今後の運動に反映される保証が無く、『言っても無駄』に感じる」「自教区で課題共有をする機会も乏しく、中央と教区との連関性が生み出せていない」という事だったと思われる。会議は予定より一時間も早く終了しましたが、全体として「低調」「停滞」のイメージが拭えず、運動そのものが空洞化しているように感じてしまいました。

帰りの道中、「何故、そうなってしまったのか？」をずっと考えました。

ふと思いついたのが、最近の国際社会における政治の姿です。今、多くの国々で専制的・独裁的な政治手法が台頭し、反面、議会が弱体化・機能不全している傾向が顕著に出ています。（本願寺派も…）それは、一言で言えば「民主主義の後退」という事でありましょう。情報の公開や共有は「民主化」となって重要なポイントですが、図らずも今回、高岡教区が出した意見は、宗派や運動、中央委員会にとって何が「非民主的」であるかを指摘したものであったと思います。

「民主主義」という概念が生まれるはるか前のお釈迦様の時代、出家者の共同体「サンガ」は、既に社会的平等、資源の共有、民主的プロセスを有していたと聞きます。「教え」に基づく運動や組織、ルールがこの中央委員会にどれだけ実現されているのか…。当たり前の事を、あらためて考えさせられる機会でした。

【高岡教区委員会副委員長 瀧野信宏】

◇これからの日程（3/14～4/30）◇

3月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	布教団連合総会 (Web) 2B総代会研修会
15		中仏のつどい
17		ボランティア炊き出し ビハーラ役員会
18		仏婦常任委員会
19		ヤスクニ問題専門委員会
21	聖典セミナー	
24	財団理事会 評議員会	
25	教区委員会全体会	コーラス (午前) 門推協議会 (Web)
26		布教団課題に基づく法話の研究会
27		龍谷教学会議
28		門推研修協議会
31	教区会	
4月		
8		コーラス (午後) 仏婦会計監査
11		仏婦教材委員会
14	常例法座	講社全国大会
22		コーラス (午前) 寺女総会
23		講社役員会
24		仏婦総連盟総会 (~25日京都)
26		寺青50周年記念講演
30		仏婦総会

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

平素より法輪せんべいをご愛顧いただきましてまことにありがとうございます。

この度、法輪せんべい専用電話サービスが終了いたしますので、今後は下記メールアドレス若しくは電話にてご注文ください。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

お申込み先は・・・高岡市東上関446

高岡教務所内(寺族青年会担当)

Tel.(090)3299-8784(代表)

メール hourin18@gmail.com

メールでのご注文の場合は

「所属組名 寺院名 せんべい必要個数 備考」

をご記入ください。

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 (KNB)・738kHz.

□第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00～6:10

●4月13日(日)

林 史 樹

(伏木組要願寺)

●4月27日(日)

池 内 瑞 雄

(新湊組円徳寺)

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送(KNB)にて毎週日曜日午前6時から放送しております。「西本願寺の時間」は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



【西本願寺高岡会館4月の常例法座】

ご講師： **藤 島 秀 恵 師**

(婦負西組勝福寺)

ご講題：『 **未 定** 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。